



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	The Hokkaido University Museum : Information : 館内のご案内
Issue Date	2013-09
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/53063
Type	book
File Information	Museum Info. 2013.pdf



1F

北大歴史展示、学術テーマ展示

北大歴史展示では、北海道大学の前身である札幌農学校以来の本学の歴史と現況を展示しています。また、開学以来受け継がれている実学の精神と、先人たちの知の蓄積を紹介します。

学術テーマ展示では、本学で行われている膨大な数の研究のなかから、災害科学、環境・循環、生命の多様性と普遍性、地球技術、北方圏研究にスポットを当てて研究の成果を紹介します。



北大との対話／通底する精神
Guide to HU / Guiding Spirits

リベラリズムからの出発
Starting with Liberalism

生き続ける札幌農学校精神
The Undying Spirit of Sapporo Agricultural College

実学の精神
The Spirit of Practical Science

ロフティーアンビションの系譜
(ノーベル賞受賞記念展示)

Lofty Ambition: A Timeline

知の交流
Exchange of Intellect

知の蓄積
Intellectual Achievement



北大との対話



リベラリズムからの出発

知の統合
Academic Themes and Perspectives

生命—多様性と普遍性
Life

循環から見る自然と人—森・土・水
Ecosystem

北を見る目・北から見る目—
変動する北東ユーラシア
Northern Biota

人間・社会・自然と科学技術
Human and Technology



生き続ける札幌農学校精神



実学の精神



ロフティーアンビションの系譜
(ノーベル賞受賞記念展示)



生命—多様性と普遍性

人間・社会・自然と科学技術



2F

学術テーマ展示、ユニバーシティ・ラボ

学術テーマ展示では、北海道大学のキャンパスにおいて、研究対象あるいは研究の場として持続的に用いられてきた標本・資料・施設を紹介し、本学の研究・教育のサステナビリティ(持続可能性)を提示します。

ユニバーシティ・ラボでは考古学の収蔵庫と研究スペースの一部を公開し、他にも海と生命、宇宙の成り立ち、北大の蔵書などを紹介して、研究の方法を提示します。

グローバルCOEプログラム「境界研究の拠点形成」の研究を展示するコーナーは定期的に更新します。

サスティナブル・キャンパス
Sustainable Campus

北大の蔵書
Bibliothecae of Hokkaido University

考古学ミュージアム・ラボ
Museum Laboratory for Archaeology

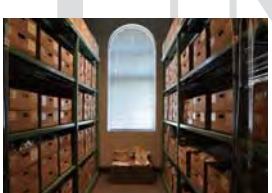
海洋—海を科学する
Ocean

グローバルCOE展示コーナー
Global COE Program

宇宙—宇宙を科学する
Universe



北大の蔵書



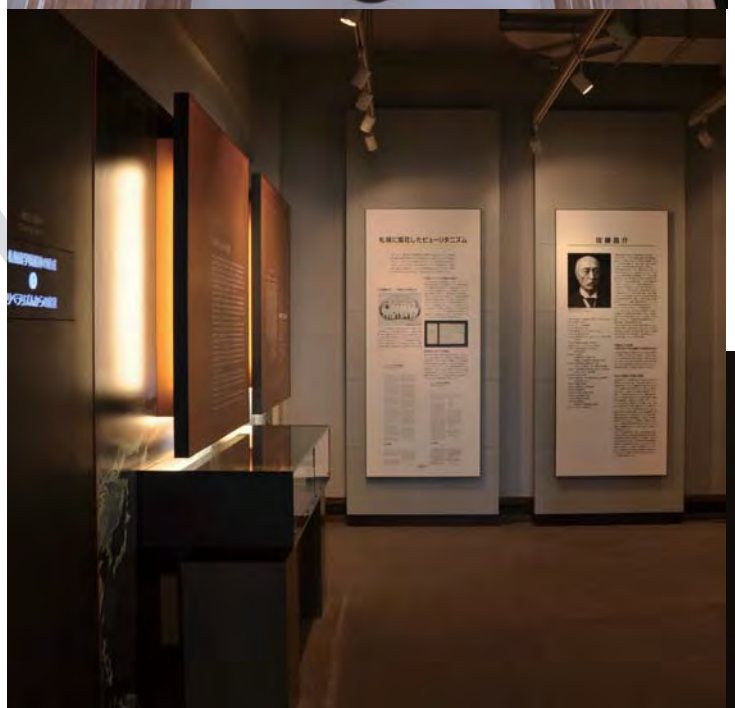
考古学ミュージアム・ラボ



サスティナブル・キャンパス



海洋—海を科学する



3F

学術資料展示、企画展示室

学術資料展示では、地球惑星科学分野、獣医学分野、生物分類学分野、医学分野について、研究の対象であり研究の材料である標本を多数紹介します。古生物の化石、鉱物・岩石、現生動物の骨格標本、植物と昆虫、魚類の標本、ムラージュ（ロウ製皮膚病模型）など、資料が訴える力を直に感じていただきます。

企画展示室では、特定のテーマに基づいた展示を一定期間公開します。



植物・昆虫標本



獣医学骨格標本

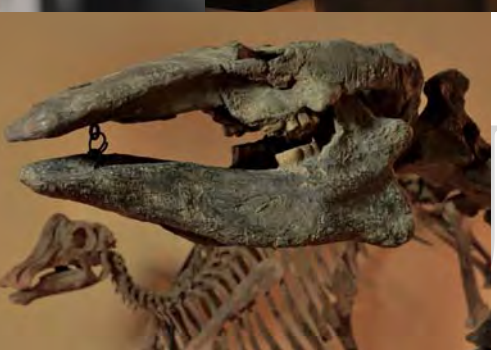
獣医学骨格標本
Skeletal Preparations

植物・昆虫標本
Herbarium Specimens, Entomological Specimens

ムラージュ（ロウ製皮膚病模型）
Moulage

アイランド・アーク
Island Arc—Geological Specimens and Their History

企画展示室
Room for Special Short-term Exhibition



アイランド・アーク

リファレンスルーム（2階）
博物館の展示や活動についての関連資料を閲覧できるコーナー。

ミュージアムショップ（1階）
総合博物館オリジナルのミュージアムグッズなどを販売。



ミュージアムショップ

関連施設

水産科学館

北海道大学函館キャンパスにある総合博物館の分館。2006年度まで「水産資料館」として親しまれてきた。本館、別館、水産生物標本館から構成され、生物標本、水産加工品、和船模型など多岐にわたる展示を公開している。



札幌農学校第2農場

1877年に建設された一軒の畜産農家を模した実験・模範農場。北海道への移住者に未経験の近代的な大規模有畜農業を採り入れる拠点を置くというW.S.クラークの構想を引き継いで創られた。当時の酪農経営の形態を知る上で大変貴重な建築物であり、国の重要指定文化財に指定されている。



交通案内 JR札幌駅北口より徒歩10分。博物館周辺に駐車場はありません。バス・地下鉄等の公共交通機関のご利用をお願い致します。

開館時間 9:30～16:30(6月～10月)
10:00～16:00(11月～5月)

休館日 月曜日、12月28日～1月4日
(月曜日が祝日の場合はその翌日が休館となります。)
※大学行事等で臨時開館・休館場合があります。

入場無料

060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
TEL 011-706-2658
FAX 011-706-4029
<http://www.museum.hokudai.ac.jp/>
museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp

北大総合博物館がつなぐ「モノ」「コト」「ヒト」

北海道大学には、130年以上前の札幌農学校時代から収集・保存・研究されてきた400万点にものぼる標本／資料が蓄積されています。その中には、新種の発見・認定の基礎となる貴重なタイプ標本が1万点以上含まれています。1999年春に開館した北海道大学総合博物館は、こうした北大の多様な研究の伝統を今に伝えるとともに、最先端の研究をさまざまな実物資料や映像で展示・紹介しています。博物館にある「モノ」たちは、「コト」(＝事／言)つまり情報とセットになることで、歴史や未来を語ってくれます。来館者の皆様に一つ一つのモノの背後にある「コト」にもぜひ目を向け、あるいは耳を傾け、そこから思いをふくらませてもらえるような博物館でありたいと考えています。

当館ではまた、北大の目指す全人教育を担う「ミュージアムマイスター」の育成や、標本資料の準専門家としての「パラタクソノミスト養成講座」など、未来を見据えたユニークな教育活動を行っています。さらに、標本整理や展示解説などではボランティア活動も盛んです。学生や教職員だけでなく市民に親しまれる、開かれた博物館として、多くの「モノ」と「コト」、そして「ヒト」との出会いの場を創りたいと願っています。



若い人たちに科学の楽しさを伝えたい

科学の研究にはたゆまぬ努力が必要ですが、それは同時に知的好奇心をかきたてる楽しい営みでもあります。科学を知り学ぶことの楽しさを、多くの方々、特に若い人たちに知ってほしいと考えています。さまざまな年代の方が科学に触れることのできる貴重な場として、北海道大学総合博物館に多くの方が訪れ、学内外を結ぶ開かれた場として発展していくことを望みます。

北海道大学名誉教授、ノーベル化学賞受賞者

鈴木 亨

1F 北大歴史展示、学術テーマ展示

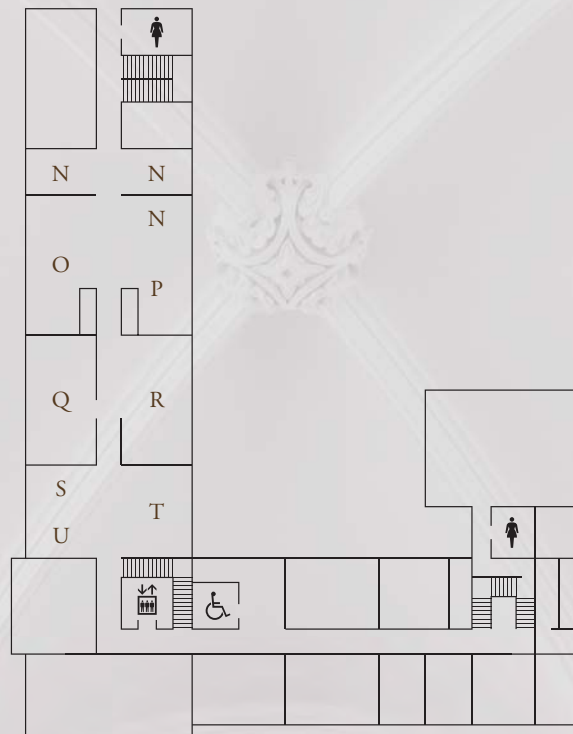


- A 北大との対話／通低する精神
- B リベラリズムからの出発
- C 生き続ける札幌農学校精神
- D 実学の精神
- E ロフティーアンビションの系譜
(ノーベル賞受賞記念展示)
- F 知の交流
- G 知の蓄積
- H 知の統合
- I 生命－多様性と普遍性
- J 循環から見る自然と人－森・土・水
- K 北を見る目・北から見る目
－変動する北東ユーラシア
- L 人間・社会・自然と科学技術
- M ミュージアムショップ

●中谷宇吉郎研究室復元展示は、N123室(館内別エリア)にあります。

エレベーター 男子用トイレ ロッカー 案内

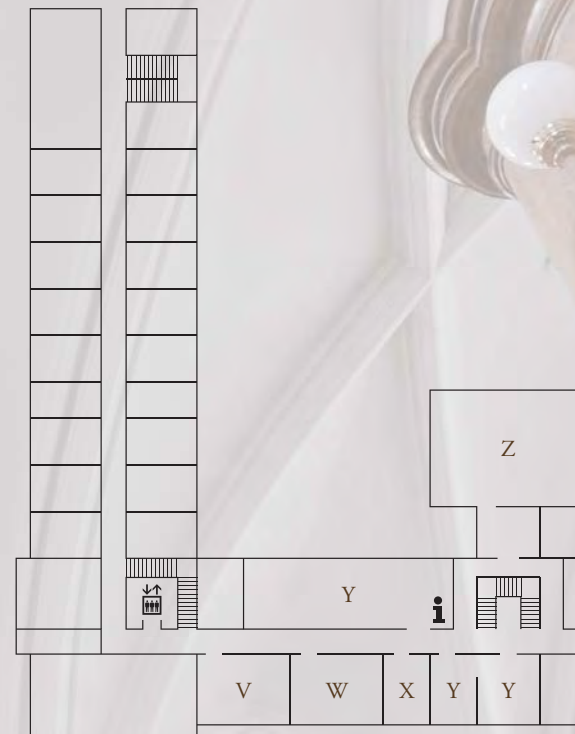
2F 学術テーマ展示、ユニバーシティ・ラボ



- N サステナブル・キャンパス
- O 企画展示室 2
- P 北大の蔵書
- Q 考古学ミュージアム・ラボ
- R 海洋－海を科学する
- S グローバル COE 展示コーナー
- T 宇宙－宇宙を科学する
- U リファレンスルーム

エレベーター 女子用トイレ 車イス専用トイレ

3F 学術資料展示、企画展示室



- V 獣医学骨格標本
- W 植物・昆虫標本
- X ムラージュ(ロウ製皮膚病模型)
- Y アイランド・アーク
- Z 企画展示室 1

エレベーター 案内

THE HOKKAIDO UNIVERSITY MUSEUM

Information

館内のご案内

北海道大学総合博物館